

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度（2017年度）		授業科目	日本語コミュニケーションⅡA(0209)	
科目基礎情報							
科目番号	0061			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	①『多文化世界－違いを学び未来への道を探る－』（有斐閣）②『理科系の作文技術』（中公新書）③『論文の教室』（NHKブックス）④『大学生のための文章表現&口頭発表練習帳』						
担当教員	戸田山 みどり,齋 麻子						
到達目標							
コミュニケーション能力を高める。(特にプレゼンテーション力を身につける) 小論文・研究論文を書く基本的な力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	コミュニケーション能力を高めることが主体的にできる。			コミュニケーション能力を高めることができる。		コミュニケーション能力を高めることが主体的にできない。	
評価項目2	特にプレゼンテーション力を身につけることが主体的にできる。			特にプレゼンテーション力を身につけることができる。		特にプレゼンテーション力を身につけることができない。	
評価項目3	小論文・研究論文を書く基本的な力を身につけることが主体的にできる。			小論文・研究論文を書く基本的な力を身につけることができる。		小論文・研究論文を書く基本的な力を身につけることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	グローバル化が叫ばれる今日、多様な文化を理解し、他者とコミュニケーションをとる必要がある。特に理科系の学生が社会に出てから必要になるコミュニケーション能力について、基礎的な理解を広げ、自分の考えを論理的に述べ、情報を収集整理し、正確に伝える力を養う。3年次よりも進路や研究論文などでの文章表現を意識し、より実践的な力を身につける。聴衆の前でプレゼンテーションを行い、限られた時間で人をひきつける力を養う。						
授業の進め方・方法	・教科書・テキスト・資料などを活用し、多様化する文化の理解を高める。 ・論文執筆に必要な要約・記述・構成を理解する。 ・エントリーシートや実際の入社試験などで出題される小論文を書くことで、実践的な力を高める。 ・ブックレビュー（ポスター発表）を行い、プレゼンテーション力を高める。						
注意点	授業時間内に記述提出する課題は必ず提出すること。また、小テストは設定された時間内で書きあげること。他者に推薦したい書籍を選び、聴衆の前で書籍の魅力を紹介すること。 冬学期の論文課題設定に向けて、問題意識・資料収集に努めること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	①ガイダンス/社会というゲームの規則：文化とは何か				
		2週	②ガイダンス/ポスター発表およびビブリオバトルのルール解説				
		3週	①文化の違いを研究する：さまざまな文化				
		4週	②エントリーシートを書く<準備>				
		5週	①平等？不平等？：権力格差と文化				
		6週	②エントリーシートを書く/ポスター作成<準備>				
		7週	①私・われわれ・やつら：社会の中の個人と集団				
		8週	②エントリーシートを書く<振り返り>/ポスター作成				
	2ndQ	9週	①男性・女性・人間：文化とジェンダー				
		10週	②ポスター発表会				
		11週	①違うということは危険なことである：文化における不確実性への耐性				
		12週	②ディスクリプション/絵を記述する1				
		13週	①昨日、今、これから？：長期志向と短期志向				
		14週	②ディスクリプション/絵を記述する2				
		15週	①明るい？ 暗い？：文化と幸福感				
		16週	②ディスクリプション/絵を記述する<小テスト>				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	課題提出			合計	
総合評価割合	40	10	50	0	0	100	
基礎的能力	40	10	50	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	